

2021年CDP気候変動質問書 ～2020年からの変更点～

CDP Worldwide-Japan

2021年5月10日



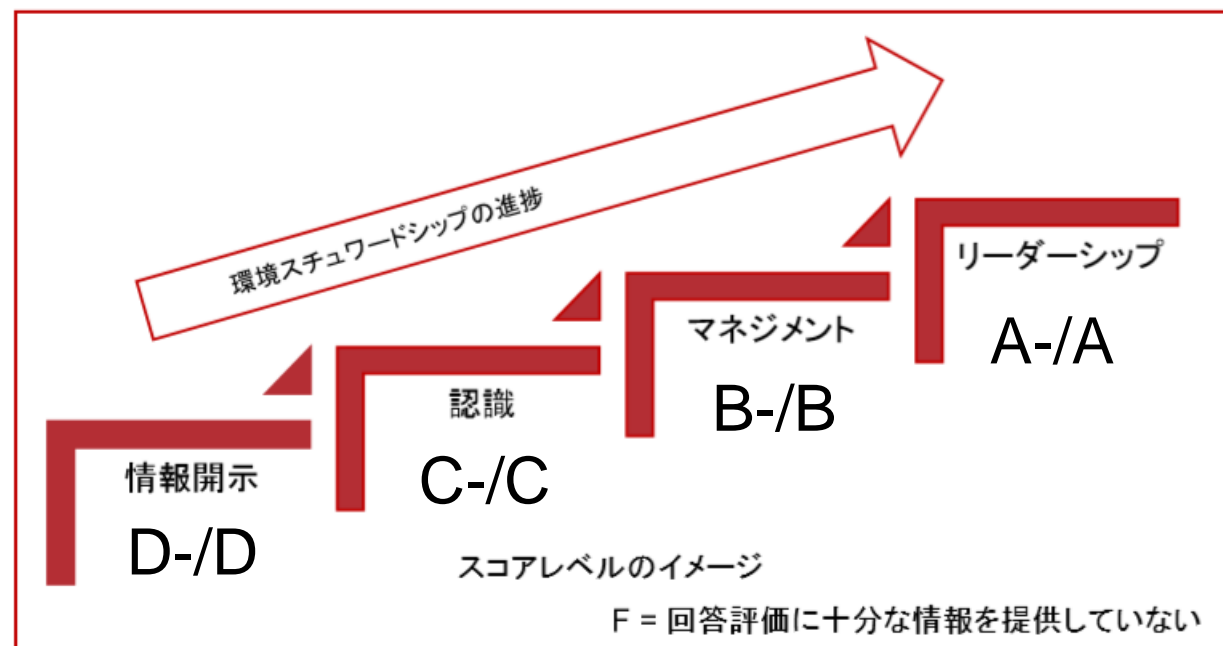
資料内容

- ▼ 全体に関するご案内
- ▼ 2021年変更点について
 - ・ 質問書/ガイダンスの変更点、新規設問
 - ・ 2021年スコアリング基準の変更点、ポイントのご説明

スコア評価の概要

- 2021年の暫定水準として、上位レベル移行（D⇒C-、C⇒B-、B⇒A- となる基準）は各レベルで80%以上獲得が条件となる予定です。

（※今後、状況次第で変更する可能性があります。）



Aリスト基準 2021年

(2020年から変更はありません)



- リーダーシップポイントの最低基準点（閾値）を達成する
- 回答を一般公開している
- スコープ1とスコープ2総排出量を報告し(C6.1と6.3)、
重大な算定の除外がないこと（C6.4における報告内容の精査）
- スコープ1と2排出量の検証（C10.1aとC10.1bで報告）
：スコープ1と2の合計排出量の少なくとも70%以上を実施、かつ重大な除外がない
- CDPにおける回答内容及び企業評価のチェック等をパスする

設問カテゴリーの比重配分

- ・ 気候変動質問書内の採点時カテゴリー（質問のグループ分け）には変更ありません。
- ・ M, L基準のカテゴリーごとの重みづけについて、“目標”が + 2 %、“リスク/機会”の開示が各 - 1 % となります。
 （変更後 M基準：目標 14%、リスク 8%、機会 6%
 // L基準：目標 14%、リスク 8%、機会 5%）

Scoring Category	2021 Management weighting changes	2021 Leadership weighting changes
Targets	12% → 14%	12% → 14%
Risk Disclosure	9% → 8%	9% → 8%
Opportunity Disclosure	7% → 6%	6% → 5%

Climate Change Categories
ガバナンス Governance
リスク管理プロセス Risk management processes
リスク開示 Risk Disclosure
機会開示 Opportunity Disclosure
事業戦略と財務計画 Business Strategy and Financial Planning
シナリオ分析 Scenario Analysis
目標 Targets
排出削減施策と低炭素製品 Emissions reduction initiatives and low carbon products
スコープ1,2排出(検証含む) Scope 1 & 2 Emissions (incl. verification)
スコープ3排出(検証含む) Scope 3 Emissions (incl. verification)
エネルギー Energy
コミュニケーション Communications
カーボンプライシング Carbon pricing
バリューチェーンとの協働 Value chain engagement
公共政策との協働 Public policy engagement
承認 Sign Off
100%の情報開示 100% Disclosure

2021年の変更点サマリー

- ▼ 低炭素移行計画に関する2つの設問が追加（C3.1a、C3.1b）
- ▼ ネットゼロ目標に関する1つの設問が追加（C4.2c）
- ▼ 修正が加えられた設問：
 - ▼ 排出量目標に関する設問（C4.1a、C4.1b）
 - ▼ 低炭素エネルギー調達に関する設問（C8.2e）
- ▼ 10の設問についてガイダンスが修正され、2つの設問においてガイダンスが追加
うち2つは新型コロナウイルスを受けた修正

スコアリング基準に変更等のある質問

変更事項のある質問

C1.1b A, L (基準、以下同)

C1.2 A

C1.2a M

C2.2 M*, L

C2.3a/2.4a M

C3.1a (新質問) D/Lにて配点

C3.1b (新質問) D/Lにて配点

C4.1a/b M, L

C4.2c (新質問) D/A/Lにて配点

C6.10 M

C8.2e*

D: 情報開示

A: 認識

M: マネジメント

L: リーダーシップ

* 印部分は、評価基準の明確化等のみ

C1) ガバナンス

C1.1b :

組織内に気候関連問題の取締役会レベルの管理監督はありますか。

・認識基準 :

- i) [気候関連課題が予定議題項目に挙げられる頻度]欄で[その他、具体的にお答えください]を除くいずれかの選択肢を選択 - 2ポイント
- ii) ~~[...ガバナンス構造]欄でいずれかの選択肢が選択されている - 1ポイント~~

採点基準を2020年版の i) 部分のみに変更。

・リーダーシップ基準（新規） :

マネジメント基準の得点が満点かつ、

右記「気候関連課題が組み込まれるガバナンス構造」のうち、**囲み**のあるいずれかの選択について、L 1/1点付与。（他は0/1点）

リーダーシップ基準

気候関連課題が組み込まれるガバナンス構造

該当するものをすべて選択:

- 戦略の審議と指導
- 主要な行動計画の審議と指導
- リスク管理方針の審議と指導
- 年間予算の審議と指導
- 事業計画の審議と指導
- 業績目標の設定
- 目標の実施と業績のモニタリング
- 主要な資本支出、買収、および売却の監督
- 気候関連課題への対応に関する定性的目標と定量的目標の進捗モニタリングおよび監督
- その他、具体的にお答えください

C1) ガバナンス

C1.2 :

気候関連問題に責任を負う最高経営レベルの職位または委員会をお答えください。

・認識基準

右記囲みのある選択が得点対象。
(: 年1回以上)

気候関連問題に関して取締役会 に対する報告頻度

選択肢:

- 四半期に1回以上の頻度で
- 四半期に1回
- 半年に1回
- 年1回
- 年1回より少ない頻度で
- 重要な事案が生じたとき
- 取締役会に報告されない

C1) ガバナンス

C1.2a :

この職位または委員会が組織構造内のどこに位置するか、その責任の内容、および、どのように気候関連課題のモニタリングを行っているかをお答えください。

・ マネジメント基準 :

表への記述内容 :

i) 気候関連問題の評価とモニタリングに関する各職位および/または委員会の責任の説明 - **±2ポイント**。

~~ii) 気候関連問題の責任がこの/これらの職位または委員会に割り当てられた理由の明確な根拠 - 1ポイント~~

質問C1.2の[職位および/または委員会の名前]欄で[気候関連問題に対して管理職レベルの責任者がいません]が選択された場合 - 0ポイント

2 番目の要件を削除、 1 番目の要件を 2 ポイントに変更。

C2) リスク・機会

C2.2 :

気候関連リスクおよび機会を特定、評価する、およびそれに対応するプロセスについて説明してください。

・ マネジメント基準 :

(略)

“プロセス”の詳細説明について明確化

iv) [プロセスの説明]に、記述したプロセスを物理的リスクおよび/または機会に適用する方法の特定、評価とその対応にてどう適用されているかを示すケーススタディを含む - 1ポイント

v) [プロセスの説明]に、記述したプロセスを移行リスクおよび/または機会に適用する方法の特定、評価とその対応にてどう適用されているかを示すケーススタディを含む - 1ポイント

・ リーダーシップ基準 :

リーダーシップレベルでポイントが付与されるには、マネジメントポイントが満点である必要があります。

基準 i), ii), iii)のすべてを満たしている場合 - 3ポイント:

i) [評価の頻度]欄で、[年に複数回]を選択、

ii) [対象となる時間軸]欄で、[短期]、[中期]、[長期]を選択、かつ、

iii) [リスク管理プロセス]欄で、[多分野かつ全社的なリスク管理プロセスへの統合]
を選択

Risk management process

Select from:

- Integrated into multi-disciplinary company-wide risk management process
- A specific climate-related risk management process

C2) リスク・機会

C2.3a/ 2.4a :

重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があるリスク／機会の開示について

・マネジメント基準：

(略)

iii)* [財務上の影響額の説明]欄で、財務上の影響額を計算する方法を、**定量的**内訳を示すことで説明し、C2.3a[財務上の影響額の説明](14番目の列)のガイドラインと矛盾しないこと - 1ポイント

(略)

v)* [リスク対応費用]で金額が報告されていて、かつ[対応の内容と費用計算の説明]で、C2.3a[対応の内容と費用計算の説明](16番目の列)に関するガイダンスと一致する金額の**定量的**内訳を示すことで、[リスク対応費用]の金額を計算した方法を説明している - 1ポイント

* C2.4aについても、それぞれ同基準の改訂。

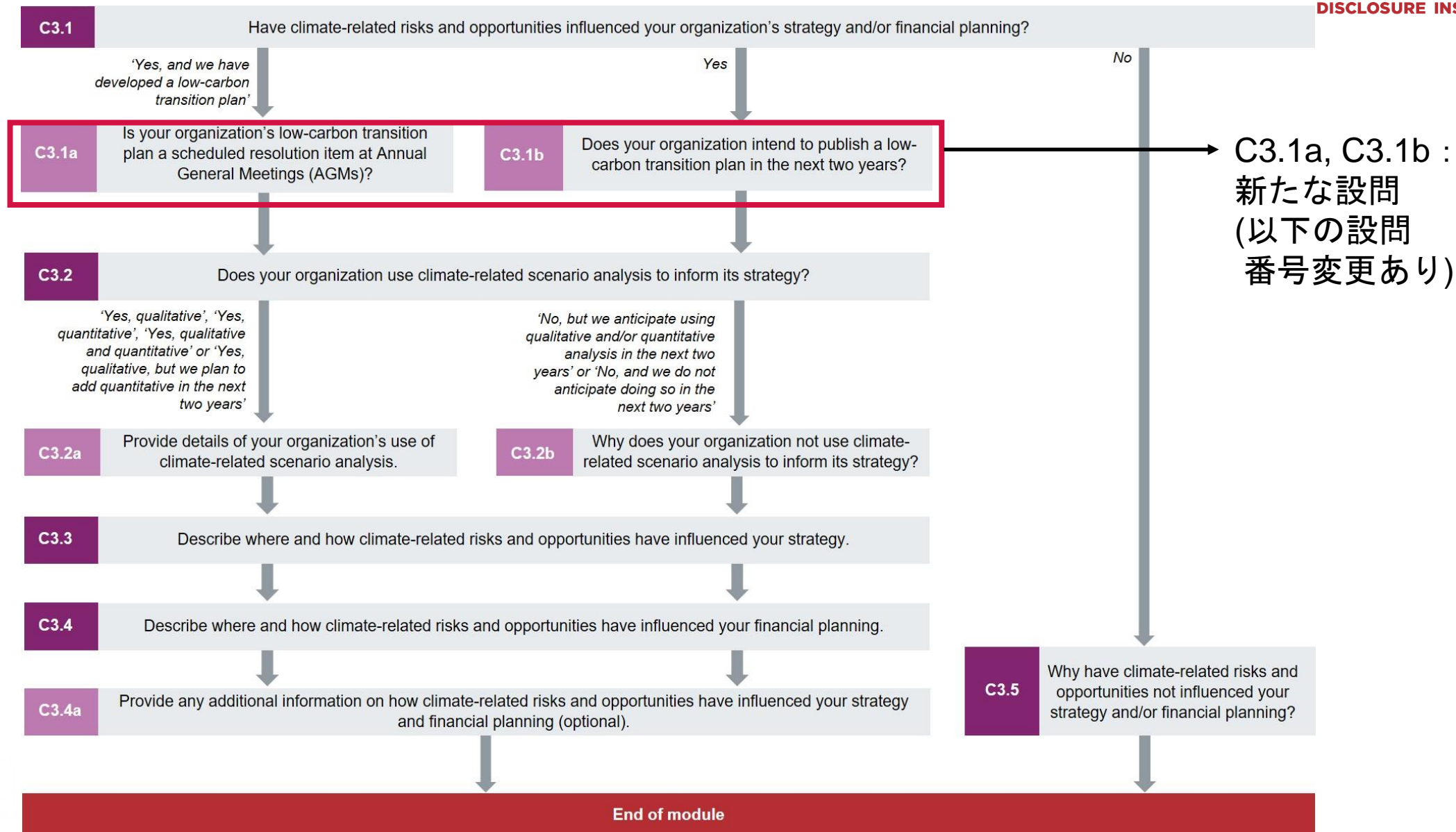
要件から「定量的 (quantitative)」を削除：適切な回答が難しくなるケースを考慮し、定量的な（：厳密な数値ベースの）説明を要求しないこととなりました。
金額算出の概要・定性的な内訳説明自体は必要です。

C3) 事業戦略

2つの新たな設問

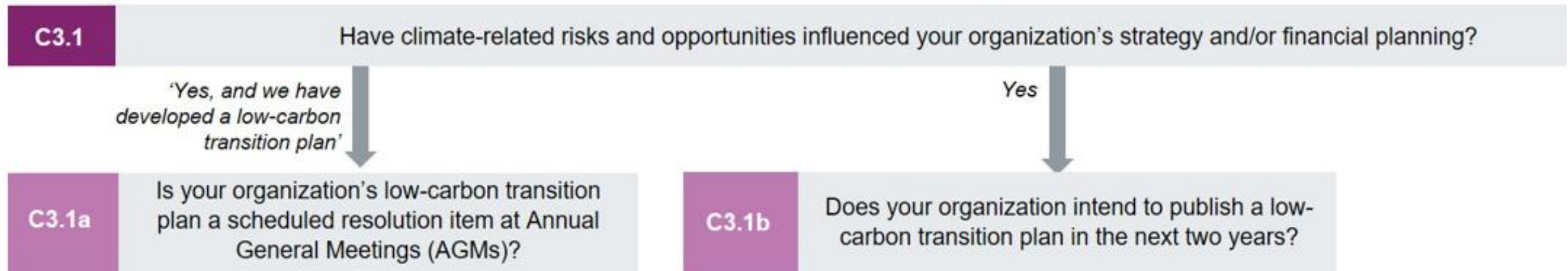


DISCLOSURE INSIGHT ACTION



C3) 事業戦略

(C3.1 質問構造)



C3.1 : 気候変動リスクと機会は、貴社の戦略や財務計画に影響を与えていますか？

↓ (はい、低炭素移行計画あり)

C3.1a :

低炭素移行計画は、年次株主総会において決議事項になっていますか？

↓ (はい)

C3.1b :

今後2年以内に、低炭素移行計画を発行する予定はありますか？

C3) 事業戦略

2つの新たな設問

C3.1a 低炭素移行計画

(C3.1a) 貴社の低炭素移行計画は、定時株主総会(AGMs)における議案として予定されていますか。

質問の依存性

C3.1の回答で[はい、低炭素移行計画を作成しました]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

回答選択肢

以下の表を記入してください:

貴社の低炭素移行計画は定時株主総会での議案ですか。	コメント
選択肢: <ul style="list-style-type: none">はいいいえ、今後2年以内に定期的な議案にする予定はありません。いいえ、ただし今後2年以内に定期的な議案にする予定ですいいえ、株主総会は開催しません	文章記入欄[最大2,400文字]

新設問

根拠

- 企業が移行計画について透明性を示すことが可能になる。
- 投資家やその他の利害関係者が、企業がネット・ゼロ経済で成功するために、ビジネスモデルをどの程度整合させることにコミットしているかを評価するのに役立つ。

注: この設問は簡易版では表示されません。

C3) 事業戦略

2つの新たな設問

C3.1b 低炭素移行計画

(C3.1b) 貴社は今後2年以内に低炭素移行計画を発表する予定ですか。

質問の依存性

C3.1の回答で[はい]を選択した場合のみ、この質問が表示されます。

回答選択肢

以下の表を記入してください:

低炭素移行計画を発表する意向	定時株主総会(AGMs)での議案として移行計画を含める意向*	コメント
選択肢: <ul style="list-style-type: none">はい、今後2年以内にいいえ、今後2年以内に低炭素移行計画を発表する予定はありません	選択肢: <ul style="list-style-type: none">はい、定時株主総会の議案として含める予定ですいいえ、定時株主総会の議案として含める予定はありませんいいえ、株主総会は開催しません	文章記入欄[最大2,400文字]

*1列目で[はい、今後2年以内に]を選択した場合にのみ、この欄が表示されます。

新設問

根拠

低炭素移行計画を公表することで、投資家やその他の利害関係者は、企業がネット・ゼロ経済の中で繁栄するためにビジネスモデルを適応させているかどうかを評価することができる。

注: この設問は簡易版では表示されません。

C3) 事業戦略

C3.1a (新質問) : D, L基準にて配点

低炭素移行計画の年次株主総会における決議・検討について

・ リーダーシップ基準

「2年以内に予定された決議事項になる予定はない」(下記)以外の選択肢

(No, and we do not intend it to become a scheduled resolution item within the next two years)

⇒ L 1 / 1点

C3.1b (新質問) : D, L基準にて配点

今後2年の低炭素移行計画の発行について

・ リーダーシップ基準

- ・ 計画発行の予定について : 「2年以内に行う予定」の選択肢 +
- ・ 低炭素移行計画の導入を年次株主総会の決議事項に含めるかの意向 : 「株主総会の決議事項にする予定はない」(下記) 以外の選択肢

(No, we do not intend to include it as a scheduled AGM resolution item)

⇒ L 1 / 1点

C3.1a

低炭素移行計画が、年次株主総会で決議されていますか。

選択肢:

- ・ はい
- ・ いいえ、だが2年以内に決議事項とする予定
- ・ いいえ、2年以内には決議事項とする予定はない
- ・ いいえ、年次株主総会の場がない

C3.1b

今後年次株主総会にて、低炭素移行計画を決議事項とする考え

選択肢:

- ・ はい、株主総会の決議事項とする予定
- ・ いいえ、株主総会の決議事項とする予定はない
- ・ いいえ、年次株主総会の場がない

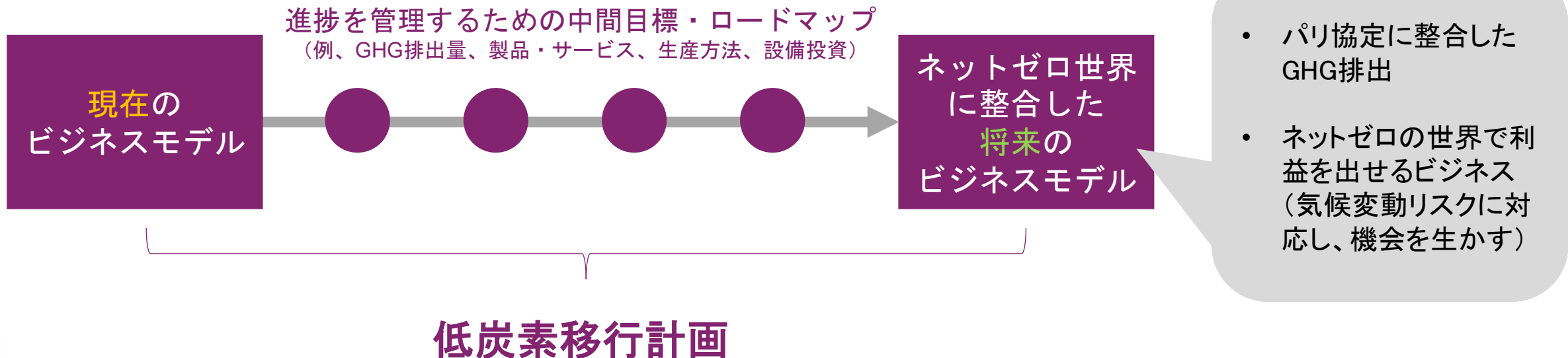
C3) 事業戦略

2つの新たな設問

低炭素移行計画とは：

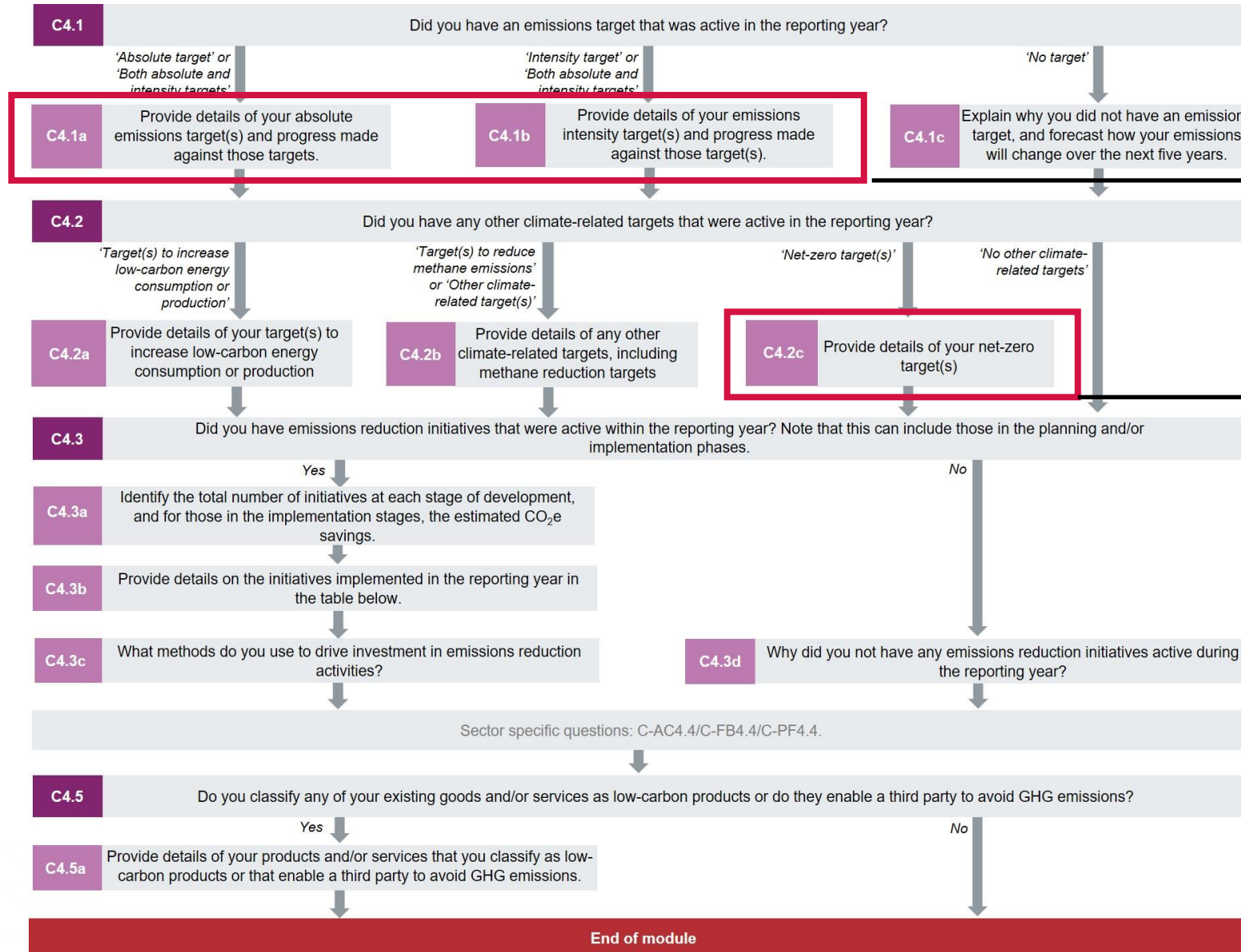
炭素ゼロ社会（Net-zero carbon economy）にて黒字経営を続けるために必要な状態に、企業自身がどのように移行するかを要約する計画。

気候関連のリスクに対応し、機会を生かすために、ビジネスモデル（関連する製品や生産方法、成長戦略、設備投資など）を経時的にどのように変容させる必要があるかを定義するものです。



C4) 目標と実績

2つの修正設問と、1つの新規設問



C4.1a, C4.1b :
修正された設問

C4.2c :
新たな設問

C4) 目標と実績

2つの修正設問と、1つの新規設問

C4.1aとC4.1b – GHG排出の総量目標と原単位目標

(C4.1a/ C4.1b)

御社の排出量総量目標／原単位目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。

報告年の目標の状況	これは科学的根拠に基づいた目標ですか?	目標と野心*	説明してください(目標の対象範囲を含む)
選択肢: <ul style="list-style-type: none">新規進行中達成済み有効期限切れ改訂置き換えた取下げ	以下のドロップダウン選択肢から選択します	選択肢: <ul style="list-style-type: none">1.5℃目標に整合済み2℃を大きく下回る目標に整合済み2℃目標に整合済みその他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大2,400文字]

SBTのターゲット分類 (野心度) を回答

- ・ 1.5℃目標
- ・ 2度より十分低い目標
- ・ 2℃目標
- (・その他の状況説明)

修正設問

根拠

- SBTiは現在、スコープ1と2排出を産業革命前と比較して2度より十分低い気温上昇に抑えるターゲットにすることを求めているが、企業が1.5℃の軌道に向けてより大きな努力を追求することを奨励している

C4) 目標と実績

C4.1a / b リーダーシップ基準 要件

C4.1a:

- ・A) SBTi認定があり、範囲が「全社的」である
1.5°C/ 2°Cより十分低い目標 → 3点、 2°C目標 → 2.5点
- ・B) SBTi未認定の場合、CDP採点時に確認
下図を得点の条件とする(すべて満たす必要あり)
※ 最大で2点

C4.1b:

C4.1aにおける要件Aと同じ評価基準
= SBTi認定かつ「全社的」目標が必要
(下記 B)のケースはなし)

以下の基準をすべてが満たされている - **1.5点** + スコープ 3の67%以上をカバー **0.5点**

- [選択したスコープ(またはスコープ3カテゴリー)の基準年総排出量の割合(%)としての基準年の対象となる排出量]が、スコープ1と2に関して95%以上であり、且つ
- 目標の適用対象がスコープ1と2両方の排出量であり、且つ
- 中期的目標である([目標年] が [目標を設定した年]の5年~15年後)、且つ
- 長期的目標である ([目標年] が [目標を設定した年] よりも15年より後である)、且つ
- 基準年から目標年にかけて前年比排出削減率2.1%を満たしている、且つ
- [目標の対象範囲]欄で[全社的]が選択されている

リーダーシップポイントを獲得するためには、中期目標と長期目標の両方を対象とするため複数の目標設定が必要であることにご注意ください。リーダーシップポイントでは、総量目標が漸増的に評価されます。情報開示ポイントを8ポイント以上獲得した目標のみが考慮されます。

C4) 目標と実績

ガイダンスの変更



C4.2b (メタン削減目標を含むその他の気候関連目標の詳細を記入してください)

「安定化目標」

ゼロエミッションなどについて、実績値を一定の水準で維持する目標に対する進捗を正しく報告するために、毎年リセットされる目標として記載。

(例:すべての事業所にて、埋め立てに関する廃棄物ゼロにする目標。排ガス中VOCを一定以下にする目標)

<安定化目標設定の際の記載>

- ・ 基準年: 今回の報告年(年初に設定されたものとして扱う)
- ・ 基準年の数値または比率: 0
- ・ 目標年の数値または比率: 報告年における目標値
- ・ 目標年: 今回の報告年
- ・ 報告年の数値または比率: 報告年の実績値

2つの修正設問と、1つの新規設問

(C4.2c) ネットゼロ目標を具体的にお答えください。

C4.2の回答で[セットゼロ目標]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

以下の表を記入してください:

目標参照番号	目標の対象範囲	このネットゼロ目標に関連付けられた絶対/原単位排出量目標	ネットゼロを達成する目標年	これは科学的根拠に基づいた目標ですか？	説明してください(図を含む)
選択肢: NZ1- NZ100 参照番号	選択肢: 目標の対象範囲 <ul style="list-style-type: none"> ● 全社的 ● 事業部門 ● 事業活動 ● 操業地/施設 ● 国/地域 ● 商品レベル ● その他、具体的にお答えください 	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> ● Abs1～Abs100 ● Int1～Int100 ● 該当なし このネットゼロ 目標に紐づく 総量/原単位目標	数値記入欄[2000～2100の数字を入力] 目標年	以下のドロップダウン選択肢から選択します 選択肢 (概略) : <ul style="list-style-type: none"> ・SBTi認定あり ・SBTi認定検証予定 ・はい, SBTi予定はなし ・いいえ, 他のSBTあり ・いいえ, 今後2年以内予定 ・いいえ, 予定なし 	文章記入欄 記述 説明



新設問

地球温暖化を1.5℃に抑えることの重要性が認識され、企業はネットゼロ目標を設定するケースが増えている。

この設問は、データユーザーに、ネットゼロ達成に向けた企業の取り組みについての透明性を提供するものである。

注: この設問は簡易版でも表示されます。

C4) 目標と実績

C4.2c : D, A基準にて配点

ネットゼロ目標の詳細 (※ C4.2にて、「ネットゼロ目標あり」と回答している場合)

目標の対象範囲	このネットゼロ目標に関連付けられた絶対/原単位排出量目標	ネットゼロを達成する目標年	これは科学的根拠に基づいた目標ですか?	説明してください(目標の対象範囲を含む)
選択肢: <ul style="list-style-type: none">全社的事業部門事業活動操業地/施設国/地域商品レベルその他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none">Abs1~Abs100Int1~Int100該当なし <div>総量/原単位目標 (C4.1a/b と連動)</div>	数値記入欄[2000~2100の数字を入力]	以下のドロップダウン選択肢から選択します	文章記入欄[最大2,400文字]

C6) 排出量データ

C6.10 : M基準

売上額当たり原単位排出量、およびその他の指標当たり排出量

・ マネジメント基準 :

マネジメントレベルでポイントが付与されるには、認識ポイントが満点である必要があります。

- **【指標の分母】に【売上額合計】を選び、かつ**

C4.3bにて関連するスコープで報告されている排出量削減イニシアチブによることを
【変化の理由】欄で説明するか、排出量削減イニシアチブについて明確に説明した場合 - 1ポイント

選択肢のうち、売上額あたりの原単位排出量が、投資家/一般情報として最も重視されるため、これを公表していただきたいという考えからです。
売上額ベース以外の回答について、従来通り行うことも可能です。

C8) エネルギー

1つの修正設問

C8.2e 低炭素エネルギー

修正設問

C6.3で報告したマーケット基準スコープ2の数値において排出係数ゼロで計算された電力、熱、蒸気、および/または冷却量について詳細を記入します。

調達方法	低炭素技術の種類	低炭素電力、熱、蒸気、または冷却の消費の国/地域	ゼロ排出係数時の算定された消費エネルギー量(MWh)	コメント
選択肢: <ul style="list-style-type: none">なし(低炭素電力、熱、蒸気、または冷却の購入なし)電力購入契約(PPA)、第三者が所有したオンサイト/オフサイト発電機あり、送配電グリッドなし(直接供給系統)電力購入契約(PPA)、送配電グリッドに接続された発電機あり、エネルギー属性証明あり電力購入契約(PPA)、送配電グリッドに接続された発電機あり、エネルギー属性証明なしエネルギーサプライヤーからのグリーン電力製品(例えば、グリーン料金)、エネルギー属性証明書での裏付けあり	選択肢: <ul style="list-style-type: none">太陽光風力水力原子力バイオマス海上輸送地熱二酸化炭素回収貯蔵(CCS)設備を備えた化石燃料工場低炭素エネルギーミックスその他、具体的にお答えください	選択肢: [国/地域 ドロップダウンリスト]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、コンマなしで0～999,999,999,999の数字を入力]	文章記入欄[最大2,400文字]

新たな「調達方法」の選択肢の追加：
エネルギー属性証明に裏付けられた、エネルギー供給者が提供する標準的なプラン
Standard product offering by an energy supplier supported by energy attribute certificates

再エネメニューでなくとも、グリッドミックスの電源構成の中の再エネ分について計上いただけるようになります。

C8.2eの値は、C7.5の値と矛盾のないようにご回答ください。
(評価基準としては整合性がチェックされます)

属性証明書で裏付けされたエネルギーサプライヤーによる標準的な製品提供

解説

- 1列目(調達方法)にて新たな選択肢が追加されました。
- 3列目から地域の選択肢が削除されました。
- 購入した再エネ電力の計算に関するマーケットバウンダリー(市場の境界線)ルールのガイドが追加されました。

C8.2e 低炭素エネルギー（続き）

新たな回答選択肢（ガイダンスより）

<ガイダンスより>

– エネルギー供給会社の標準的製品であるが、エネルギー属性証明によって裏打ちされているもの。供給者割当（米国のRenewable Portfolio Standardsなど、電力供給者に対して供給量の一定割合を特定のエネルギー源から調達することを義務付ける規制）の下で、エネルギー供給者がグリッドミックスに占める再生可能エネルギーの割合に適用される。供給者は、すべての顧客に代わってエネルギー属性証明書を償却する。

Standard product offering by an energy supplier supported by energy attribute certificates. Applicable to the share of renewable energy in the grid mix of an energy supplier under a supplier quota - a regulation requiring electricity suppliers to source a percentage of their supply from specified energy sources, e.g. Renewable Portfolio Standards in the US. The supplier retires energy attribute certificates on behalf of all its customers.

その他のガイダンス変更点

2021 MODULES
C0 Introduction
C1 Governance
C2 Risks and opportunities
C3 Business strategy
C4 Targets and performance
C5 Emissions methodology
C6 Emissions data
C7 Emissions breakdown
C8 Energy
C9 Additional metrics
C10 Verification
C11 Carbon pricing
C12 Engagement
C15 Sign off
SC Supply Chain

- ▼ C3.2a (シナリオ分析に関する設問) : 「詳細」列に関するガイダンスをスコアリング基準に合わせる形で修正
- ▼ C4.2a (低炭素エネルギー目標) : 「目標タイプ」に関するガイダンスをより明確化
- ▼ C4.2b (その他の目標) : 安定化目標 (一定レベルの保持を目指す目標) の回答方法のガイダンスを追加
- ▼ C8 エネルギーモジュール : バイオマスの定義を追加
 - ▼ バイオマスとは再生可能な形で利用可能な有機物・生物学的物質を指し、木材や農作物といった植物や動物に由来する原料や、地域や産業から出てくる有機廃棄物が含まれる。バイオマス燃料は、可能な限り、持続可能な方法で供給され、認証を受けたものであることが望まれ、固形バイオ燃料、バイオガス、液体バイオ燃料がある。
- ▼ C8.2c (燃料ごとの消費量) : GHG排出を直接測定している場合に、“排出係数”の代わりに別の特殊値を入れることを手順化

新型コロナウイルス蔓延を受けたガイダンスの変更点

2021 MODULES
C0 Introduction
C1 Governance
C2 Risks and opportunities
C3 Business strategy
C4 Targets and performance
C5 Emissions methodology
C6 Emissions data
C7 Emissions breakdown
C8 Energy
C9 Additional metrics
C10 Verification
C11 Carbon pricing
C12 Engagement
C15 Sign off
SC Supply Chain

▼ C6.10 (売上に基づく排出原単位)で下記のガイダンスが追加

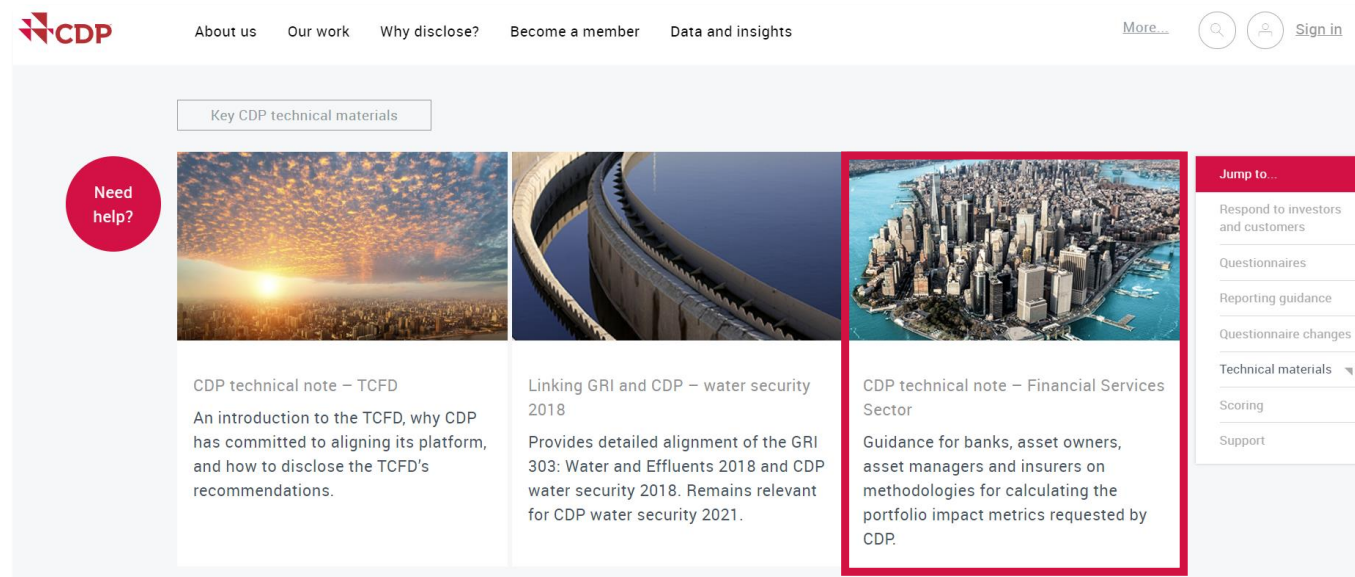
- ▼ 排出原単位の変化が、パンデミックの影響による御社事業生産量の増減に起因する場合は、「変化の理由」列に、その旨を記載しどのように生産量に影響を与えたのかをご記載ください。

▼ C7.9a (排出量の変化に関する設問)で以下のガイダンスが追加

- ▼ パンデミックに伴う御社の事業生産量が増減したことに起因する排出量の変化は、「生産量の変化」の行で報告してください。そして「計算について説明してください」の列に、パンデミックが御社の生産量がどのように影響を与えたのかをご記載ください。

金融サービスセクターに関する変更点

- ▼ 回答要件をより明確にするために以下の設問のガイダンスを修正
 - ▼ C-FS0.7 (御社はどの活動に従事していますか?) : 報告対象とすべき活動の閾値を追加、保険引受業務の定義の更新
 - ▼ C-FS3.6a (2020年のC-FS3.2a) (気候関連問題は御社のどのような方針に組み込まれていますか) : ポートフォリオ対象範囲に関するガイダンスの追加
- ▼ ポートフォリオインパクトに関するモジュール (C-FS14) の詳細ガイダンスの作成 ([リンク](#))



金融セクター質問 (C-FS2.2b)

Portfolio	We assess the portfolio's exposure	Please explain
Bank lending (Bank)	Select from: <ul style="list-style-type: none">• Yes• No, but we plan to do so in the next two years• No, we don't assess this• Not applicable	Text field [maximum 2,400 characters]
Investing (Asset manager)		
Investing (Asset owner)		
Insurance underwriting (insurance company)		
Other products and services, please specify		

Management scoring criteria

Full Awareness points must have been awarded to be eligible for points at Management level.

In column 'We assess the portfolio's exposure':

A) If 'Yes' is selected - 1 point

: 一部削除後の要件 (:はい(Yes)を選択)

OR

B) If 'No, but we plan to do so in the next two years' is selected, column 'Please explain' contains a clear explanation as to why the portfolio's exposure to climate-related risks and opportunities is not currently assessed AND how you plan to do so in the future - 1 point

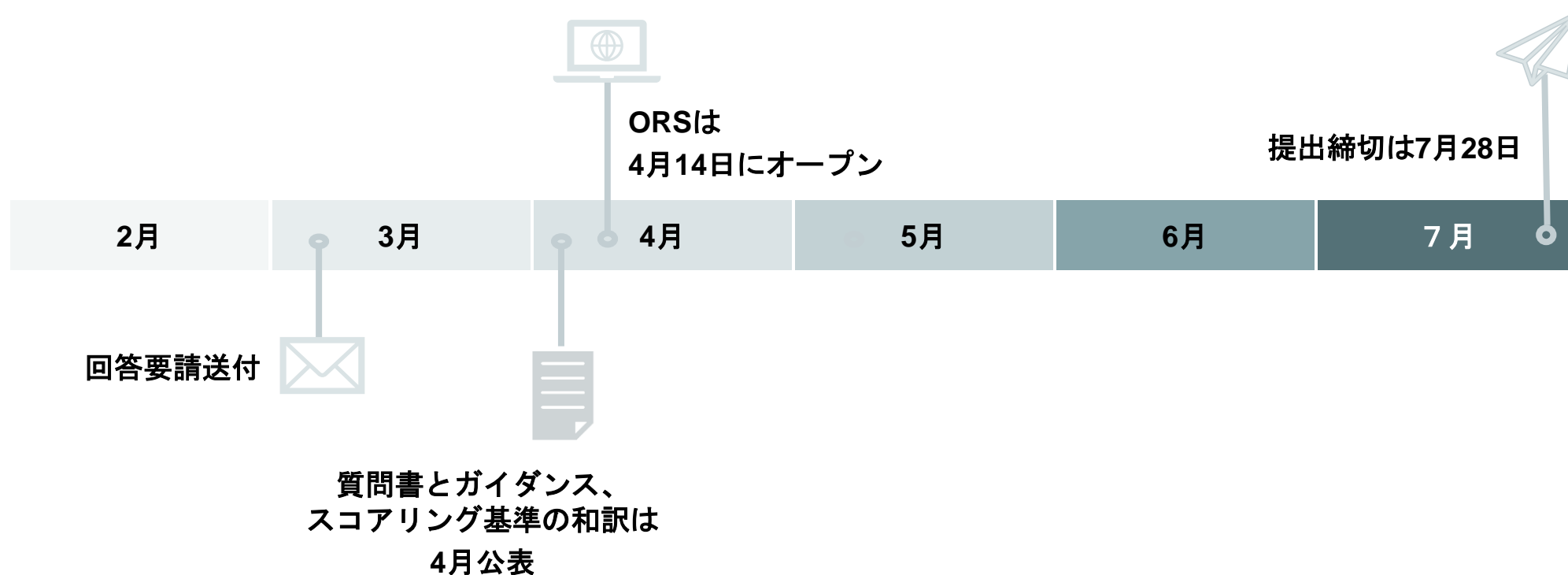
金融サービスセクター向けのC-FS2.2b, C-FS2.2cの質問は、ポートフォリオのリスク等評価について似た情報を尋ねていて、2020年評価基準も重複になる状況でした。そのため、2021年版ではFS2.2bにおける評価基準を一部削除する改定を行い、その解消を図っています。

サプライチェーンモジュールの変更点



- ▼ CDP Action Exchange Initiativeが停止されたことを受け、SC3.1 – SC3.2a (6設問)を除外
- ▼ SC0.1 (年間売上に関する設問) のガイダンスの修正: 円単位 (百万円単位などではなく) で回答する必要があることを追記

開示タイムライン



※ ※ 日本語版については**補助的な情報**としてご利用いただき、
最新・正式な情報については元の資料である**英語版をご参照ください。**